

9 プランの目標

プランにおける数値目標は、食生活に関する課題など5項目について平成22年度を目標年度とした数値を平成18年に設定し、施策を推進してきました。

これまでの取組の結果や状況の変化等を踏まえ、食育の推進、課題の達成に関する状況を客観的に把握するため、新たに次の目標値を設定して取り組みます。

(1) 食習慣に関する課題

◇朝食を欠食する県民の割合の減少

朝食の欠食は、栄養バランスが偏る要因になるほか、集中力を欠く、体調が悪くなる等といった問題が指摘されていることから、朝食を欠食する県民の割合の減少を目標とします。

なお、目標の設定に当たっては、成人の中でも特に朝食欠食率の高い20から30歳代の男性、食習慣を形成する時期である学童期の小学6年生の朝食の欠食率を目標値とします。

項 目		参考値 (H17)	現状値 (H22)	目標値 (H27)
朝食を欠食する 県民の割合	20から30歳代男性	33.8%	30.8%	23%以下*
	小学6年生	4.4%	2.6%	2%以下

(出典) 小学6年生：全国学力・学習調査 (H22)。20～30歳代男性：県民健康・栄養調査 / 速報値 (H22)

*H24までの目標値。「みやぎ21健康プラン」の後継計画を踏まえて目標値の見直しを行う。

注1 朝食を欠食とは、「朝食を毎日食べているか」の設問に「全くしていない」、「あまりしていない」と回答した者の割合

注2 参考値：20から30歳代男性は県民健康調査(仙台市を除く)、小学生は小学5年生が調査対象

◇脂肪エネルギー比率の減少

バランスのとれた食生活・食習慣の実現を目指し、脂肪エネルギー比率を「日本人の食事摂取基準 2010版^(注13)」で示されている摂取目標の範囲まで減少することを目標とします。

項 目	参考値 (H18)	現状値 (H22)	目標値
脂肪エネルギー比率の減少 (20から40歳代)	25.7%	25.6%	25%以下*

(出典) 県民健康・栄養調査 / 速報値

*H24までの目標値。「みやぎ21健康プラン」の後継計画を踏まえて目標値の見直しを行う。

◇野菜摂取量の増加

血圧を下げる働きがあるカリウム、その他ビタミンや食物繊維を多く含む野菜を適量とすることは、生活習慣病の予防に効果的なことから、1日当たりの野菜摂取量の増加を目標とし、「健康日本21」^(注14)の目標値を目指します。

項 目	参考値 (H18)	現状値 (H22)	目標値
1日当たりの野菜摂取量 (成人)	307.8グラム	307.4グラム	350グラム以上*

(出典) 県民健康・栄養調査 / 速報値

*H24までの目標値。「みやぎ21健康プラン」の後継計画を踏まえて目標値の見直しを行う。

(2) 食生活に関する意識

◇食生活に対する県民意識の変化

健全な食生活を実践するために「何を」「どれだけ」「どのように（組み合わせで）」食べたらよいかを理解し、実践する県民の増加を目標とします。

項 目	参考値 (H17)	現状値 (H22)	目標値 (H27)
主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合	62.7%	70.6%	75%
食事の量は適量を心がけている人の割合	78.9%	78.1%	85%
栄養成分表示を参考にしている人の割合	37.5%	40.9%	50%

(出典) 県民健康・栄養調査 / 速報値
注 参考値は、仙台市を除く調査結果

(3) 食に関連する健康上の課題

◇肥満傾向児の出現率の減少

本県の肥満傾向児の出現率が全国値より高いことから「肥満傾向児の出現率の減少」(対象：中学 1 年生) を目標とし、全国値(平成 22 年度)を目標値として設定します。

項 目	参考値 (H18)	現状値 (H22)	目標値 (H27)	
肥満傾向児の出現率	中学 1 年生 (男子)	16.88%	16.56%	11%
	中学 1 年生 (女子)	11.47%	14.11%	9%

(出典) 学校保健統計調査

◇^(注15)メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の割合の減少

食事などの生活習慣を改善しないと心筋梗塞や脳卒中等が起こりやすくなるメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合について、全国平均値(平成 20 年度)まで減少することを目標とします。

項 目	現状値 (H20)	目標値 (H27)
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合 (40 から 74 歳)	30.8%	26.7%

(出典) 特定健診

◇3 歳児のむし歯数の減少

望ましい食習慣を維持するためには、幼児期から歯の健康を保つことが大切です。そのため、3 歳児の一人平均むし歯数の減少を目標とします。

項 目	参考値 (H18)	現状値 (H20)	目標値
3 歳児の一人平均むし歯数	1.78 本	1.52 本	1 本以下*

(出典) 3 歳児歯科健康診査

* H24 までの目標値。「みやぎ 21 健康プラン」の後継計画を踏まえて目標値の見直しを行う。

(4) 地産地消の取組

◇学校給食の地場産野菜等の利用品目数の割合の増加

学校給食に地場産物を使用することは、地域の農産物等への理解を深めるとともに、地域の自然や文化及び産業等に触れる機会となります。このため、学校給食において利用する野菜等の品目数のうち、地場産の占める割合の増加を目標とします。

項 目	参考値 (H18)	現状値 (H21)	目標値 (H27)
学校給食の地場産野菜等の利用品目数の割合	25.1%	30.8%	33.6%

(出典) 宮城県調べ

◇都市農山漁村交流拠点施設の利用や農産物販売施設売上高の増加

農産物販売施設や体験施設等は、地域食材の利用拡大や普及啓発による地産地消の推進や生産者と消費者の交流による相互理解につながることから、これらの施設の利用人口及び売上高を目標とします。

項 目	現状値 (H21)	目標値 (H27)
主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用人口	901 万人	1,000 万人
農産物直売所推定売上高	69 億円	85 億円

(出典) 宮城県調べ

◇農業体験学習に取り組む小・中学校の割合の増加

農林水産物の生産や加工に関する体験学習は、子どもの食に対する関心や理解を深めるための有効な手段となります。このため、農業体験学習に取り組む小・中学校の割合の増加を目標とします。

項 目	参考値 (H17)	現状値 (H21)	目標値 (H27)
農業体験学習に取り組む小・中学校の割合	68%	79.4%	90%

(出典) 宮城県調べ

(5) 食の安全安心

◇みやぎ食の安全安心消費者モニター^(注16)の活動率の増加

食の安全安心に関する正しい知識を身につけ、役割を積極的に果たす消費者モニターの活動参加割合を目標とします。

項 目	現状値 (H 21)	目標値 (H27)
みやぎ食の安全安心消費者モニターの活動率	64%	80%

(出典) 宮城県調べ

(6) 食育の推進体制

◇みやぎ食育コーディネーター^(注17)による食育推進活動への参加人数

食育推進や食生活改善のためには、地域において食育を推進する人材の果たす役割が重要なことから、みやぎ食育コーディネーターによる活動対象人数の増加を目指します。

項目	参考値 (H20)	現状値 (H21)	目標値 (H27)
みやぎ食育コーディネーターによる食育推進活動への参加人数	4,473 人	7,231 人	15,000 人

(出典) 宮城県調べ

◇食育推進計画を作成・実施している市町村の割合

食育を県民運動として推進していくためには、各市町村の取組が進められることが必要のため、計画を作成・実施している市町村の割合を目標とします。

項目	参考値 (H17)	現状値 (H22)	目標値 (H27)
食育推進計画を作成・実施している市町村の割合	0%	91.4%	100%

(出典) 宮城県調べ



みやぎっ子ルルブル推進会議

社会全体で子どもたちの望ましい生活習慣を確立していくため、その趣旨に賛同する団体、企業等が会員となって設立した会議です。

「ルルブル」とは・・・
子どもの^{すこ}健やかな成長に必要な
「^ねしっかり寝ル・^{すこ}きちんと食ベル・^のよく遊ブで健やかに伸びル」
からとったものです！

羊の「ルルブル」くん

